

## 事業報告書 (令和 3 年度)

事業名 カラフルな個性って面白い!世界を共有し、未来へ  
(発達に特性を持つ子どもたち、大人たちの持っている力をより社会で発揮して行くための  
土台作りとしての情報共有や相談の場、自己理解や他者理解の場の提供)

団体名 カラフルキッズの会にじのね 担当者名 田中 朋子  
※活動の様子がわかる写真(データもお願いします)と説明を必ず添付してください。

|   |
|---|
| <b>1. 活動内容(日時、場所、参加対象者、人数、内容等)</b>  |
| 1. にじのね座談会(毎月最終月曜日開催)<br>2. にじのね夜カフェ(毎月最終金曜日夜開催)<br>3. にじのね楽習会(6月)<br>4. たのしいおんがくオンライン(2月)<br>5. SNS等での交流・情報発信<br><br>*詳細は別紙  |
| <b>2. ESDの視点を取り入れたところ、ESDの視点で見直したところ</b>  |
| 今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、対面での座談会や楽習会・音楽会が企画しにくい状況であったが、あらかじめできる限りオンラインでの企画をすることでほぼ途切れることなく企画したイベントを開催することができた。<br>また、平日昼間は仕事等で座談会に参加できない方も参加していただけるように開催した夜カフェは、継続して参加してくださる方も増え、一つの居場所として機能しはじめている様子もうかがえた。<br>また、昨年に引き続き、市内で活動している親の会の交流会にも参加し、情報交換などの横のつながりを構築することができた。        |
| <b>3. 取組の成果(参加者にどのような意識や行動の教育上の成果があったか。感想など)</b>  |
| オンラインを用いての開催は、コロナ禍でも継続して開催できたため、企画の中止をすることもなく、安定して開催できた。<br>参加いただいた方からは「こんな状況下でも楽しめるのが本当にありがたかった」という声も多く聞かれた。<br>また、途切れることなく継続して座談会を開催する中で、最初は相談をする側だった参加者の方が、この会の中で話したことや得た情報を元に次は相談を受ける側になっていくという事例もあり、継続して会があることで安心感や、次に繋げることのできる信頼感を感じてくださっている様子も見られ、継続して開催することの意義を強く感じた。 |

(様式第8号)

#### 4. 今後の課題と展望

今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、オンラインでの開催が多くなったが、対面での開催を望む声も引き続きあるため、状況を見ながら対面でのイベント企画もしていきたい。

またHPを整備したり、他団体や関連の人たちとのつながりを作っていくことで、より新しくよりカラフルキッズの子育てが楽しく楽になる情報や企画を継続して提供できるようにしていきたい。